

道徳教育の充実を目指した取組のまとめ【折多小】学校

- 1 保護者・地域への授業公開について
 2 体験活動の充実について（地域、関係機関等との連携）
 3 道徳教育の充実を目指した校内研修の取組について
- 1 保護者・地域への授業公開について
 (1) 9/11の授業参観では、「心の教育の日」として、全学年道徳の授業参観を実施した。
 ※ 1年は、家庭教育学級生（1年生保護者）と一緒に「人権教室」（阿久根市人権擁護委員の方が講師）を実施した。
 ○ 11/1～7の地域が育むかごしまの教育県民週間で、全学年道徳の授業を公開した。
- 2 体験活動の充実について（地域、関係機関等との連携）
 ○ 折多校区の自然を守る会との連携
 ・米づくり（福島県いわき市立錦東小学校との交流）
 ○ 高齢者クラブとの交流（全学年で交流）
 ・竹トンボづくり（4年）・グランドゴルフ（3年）
 ・凧作り（6年）・そば打ち体験（5年）・昔遊び（1・2年）・ふるさと先生（5・6年）
 ○ 地域との連携（地域での活動）
 ・「人権の花」運動推進校としての取組・三十来組（みどこい組）との連携
 ・折口駅での花植え・ボランティア活動（全学年参加）・ひらめの放流
 ○ PTA活動との連携
 ・創立120周年記念事業「地引網」、海岸清掃・みどこい祭り（6年）
 ・創立120周年記念秋季大運動会
 ○ 民生委員との連携
 ・あいさつ運動・地域安全マップ作り（NPO法人さわやか出水女性の会）
 ○ ひまわり週間（年4回）の実施（友達アンケートの実施、友達のよいところ紹介等）
 ○ ぐりぐら会（読書グループ）による読み聞かせ
 ○ 二宮金次郎像の正門前への移設（創立120周年記念事業の一環 3/2愛校作業）
- 3 道徳教育の充実を目指した校内研修の取組について
 ○ 10/11の出水地区教育振興大会における事例発表を契機に、体験活動を生かす道徳の時間についての基本的な学習過程について共通理解を深めた。
 ○ 11/25の校内研修（道徳教育）において、人間理解と道徳教育について、道徳の指導案の書き方、道徳の時間の基本的な流し方、自作資料の作り方等について、共通理解を深めた。自作資料の作成については、作成の手順を提示し、学校での体験活動（総合的な学習の時間や生活科等）をもとにしながら、低、中、高学年部で各一部作成することを確認し、現在も作成中である。



<支援米出發式>



<折口駅の花植え>

【成果と課題】

<成果>

- 道徳の時間についての授業公開を全学級で公開することができ、保護者や地域の方々の道徳教育に対する関心を高めることができた。
- 関係機関等と連携し、校内、校外での体験活動の充実を図ることができた。
- 7/20に行われた折口海岸清掃、地引網大会を素材に、高学年用の読み物資料「折口清掃活動」（郷土愛）を作成し、略案を作成した。来年度の指導計画に位置づけ、更なる改善を図りたい。

<課題>

- 保護者や地域への道徳授業の公開や「心の教育」に関する取組について、今後も啓発活動の充実を図っていきたい。
- 体験活動の更なる充実を図るために、関係機関等との連携を更に深めていきたい。
- 校内研修や県内外の各種研修会等を通して、基本的な学習過程の段階ごとのもつ意味や指導方法等について理解を深めることができたが、道徳的実践力を育てる授業展開については、今後も研修を深めていきたい。
- 学校での体験活動（総合的な学習の時間や生活科等）をもとにしながら、低、中、高学年部で自作資料を作成するとともに、簡単な略案も作成し、授業実践につなげていきたい。